

# 歯舞漁協の新施設を視察

総務経済常任委員会（久保田陽委員長）は9月27日、新設された歯舞漁業協同組合の水産物荷捌施設・防災施設・海業支援施設を視察しました。党議員団から鈴木一彦議員が参加しました。

共にしあわせ産みだす日本共産党

## 市議団ニュース

第2035号

2022年10月9日

日本共産党根室市議団  
根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684



歯舞漁協では、国の水産物荷捌施設、防災施設、海業支援施設を整備しました。また、直轄特定漁港魚場整備事業により人工地盤施設、屋根付き岸壁等が整備されています。

左の写真は、人工地盤の上で担当者から説明を受けている様子。奥の建物は漁協の3階、4階部分です。



写真ではわかりづらいのですが、施設屋外のあらゆるところに鳥（主にカモメ）がとまるのを防ぐための装置が設置されています。



長さ10センチ程度の細かい棒状のものがビッシリ。先端は尖っていますが、固い素材ではないので、人が誤って触れてもけがをすることははないと思われます。



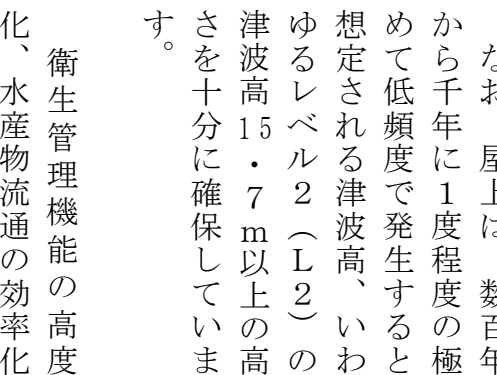
右の写真は荷捌き室。高潮が発生して海水が流入しても対応できるように、壁に荷を置く台が設置されています。



右の写真は耐震強化岸壁。屋根付きです。写真の左側が海で、現在はオープンになっていますが、鳥除けのネットが張られる予定です。



防災一時待機室①。次の写真の防災一時待機室②と合わせて、一次避難者450名、帰宅困難者120名を収容できるところです。



セリ場。一括セリが行われます。大型モニターが設置されています。また、三方からガラス越しに見学できるスペースが設けられています。



衛生管理機能の高度化、水産物流通の効率化と併せて、防災・減災機能を確保しています。また、都市漁村交流の更なる推進をめざす施設も設置されています。

なお、屋上は、数百年から千年に1度程度の極めて低頻度で発生すると想定される津波高、いわゆるレベル2（L2）の津波高15.7m以上の高さを十分に確保しています。

防災一時待機室②。左奥に見えるのは防災調理室。平時は、訓練を兼ねて、職員の食堂として機能しているそうです。